

第2回審議会の議事概要

(1) 開催概要

名 称： 第2回伊丹市行財政審議会

日 時： 令和2年7月20日（月） 10:00 ～ 12:00

場 所： 市役所議会棟3階 第2委員会室

出席者： 上村委員、成田委員、橋本委員、松尾委員、山下委員、山田委員、和田委員

議 題：① 第1回審議会の議事概要

② 公共施設マネジメントの取り組みについて

③ 事務事業の見直し・効率化、組織力の強化について、
公共私協力関係構築の取り組みについて

④ 地方公営企業及び第三セクター等の経営健全化について

(2) 議事概要

議題① 省略

議題② 公共施設マネジメントの取り組みについて

【意見】

- ・延床面積 10%削減というのは、厳しい目標だと思う。財政的には、床面積よりも削減金額のほうが重要だと思う。
- ・幼児教育の再編について、30年先の財政状況を考えると、大きな認定こども園ができて子供たちが楽しく有意義な時間を過ごせるのであれば良かったと思う。
- ・公共施設の再編計画がたてられていることは有効だと思う。ただ、200億円を削減することは厳しい状況だと思う。
- ・受益者負担について、使用料手数料等審議会より答申を受けているということだが、計画的に取り組んでいく必要がある。伊丹市は多目的施設や音楽ホールなどの施設が充実しているが、伊丹市に住む人を増やすためには公共施設の充実も大事だと思う。
- ・受益者負担について、行財政改革というと歳出削減が大きくクローズアップされるが歳入を増やすという観点も大事である。
- ・公共施設の維持管理経費について、目先の予算を削ってしまい、維持補修を先送りすることにより結果的に補修費用が増えてしまうということにならないためには、計画保全をきっちり行う必要がある。

**議題③ 事務事業の見直し・効率化、組織力の強化について、
公共私の協力関係構築の取り組みについて**

【意見】

- ・ I Tロボティクス活用、共通事務の集約について、職員は労働時間を確保してより高度な事業をすることに向いていってほしい。
- ・ P F I、P P Pについて、国の動きも注視しながら積極的に活用してほしい。
- ・ 公共私の協力関係について、本市は地域のコミュニケーションや協力体制が充実しているという声を聞く。
- ・ イオンモールの中にある図書館について、買い物ついでに立ち寄れるのでよく利用しているが、市の狙いがうまくいっていると思う。
- ・ 事務事業の見直しについては、民間経営においても組織強化のために非常に重要である。
- ・ 過去の行革では職員の人件費をカットするものも多かったが、そうではなく事務事業の効率化を図ることが重要で、良い方向に向かいつつあると思う。
- ・ P D C Aサイクルの中で今後 I C T活用を活かし、エビデンスをうまく使いながらチェックをいかに効率化していくかは、業務の効率化や質の高い働き方に関わってくる。もっと I C T活用を強調してもよいのではないか。
- ・ 伊丹市にとってスマート自治体がどのように行財政面に影響を及ぼすのかをもう少し煮詰めてほしい。

議題④ 地方公営企業及び第三セクター等の経営健全化について

【意見】

- ・ 公営企業や第三セクターの見直し効率化については着実に実行する必要がある。
- ・ 第三セクターについて、団体の職員に設立根拠やどういう成果を目標とするのかをしっかりと認識してもらうことが大事である。
- ・ 伊丹市の魅力という意味で、第三セクターは重要な施設を運営しており、今後も存続できるように市としてバックアップしていただきたい。
- ・ 新型コロナウイルスの影響で病院の経営も厳しい方向に向かいつつあるなか、病院統合後の収支がシュミレーション通りに進むか懸念を持つ。
- ・ シルバー人材センター、柿衛文庫、いたみ文化スポーツ財団の 3 団体は雇用、文化、スポーツの分野になるが、今回の新型コロナウイルスの影響により厳しい状況に置かれている。民間であれば削減の対象になるが、公益性を考慮し取り組んでほしい。